中央公民館図書室

開 館 日：火曜～日曜
開館時間：午前９時～午後５時
☎83-2239 社会教育係

公式インスタグラム
TOYOURA.LIBRARY

＼協力隊が行く！／

とようら町人（まちびと）リレー ～町民の皆さんと本の話～

豊浦町の図書室にやってきた地域おこし協力隊の木村が、“まちびと”にリレー形式で出会いにゆき、本にまつわるアレやコレやをお話する企画。次に伺うのはあなたのお家かも…！！

前回：第十一町人（まちびと）
小川 晃生さん からのご紹介

第十二町人（まちびと）

布目（ぬのめ） 浩（ひろし）さん

前回の小川さんから繋いでいただいたのは、礼文華の布目さんです。写真に撮らせていただいたのは、毎年友人から贈られるという「“騒音おじさん”帽子」。

木　村：図書室のコーナーなので、一応はじめには「思い入れのある本」や「思い出の本」について伺っています。

布目さん：本の話かぁ……無いなぁ……。無い。

木　村：そうですよね～。布目さんはどちらから移住されたんですか？

布目さん：東京から。元々は銀座で洋服屋をやっててさ。

― ここで、洋服屋になるまでの経歴。ご両親のルーツにまで遡りましたが泣く泣く要約。― ［布目さんは大学卒業後、皇室に納品している生地屋に奉公へ。戻った後は母が営んでいた婦人服店を継ぎ、高島屋など一流デパートに卸すほどとなる。］

布目さん：当時（昭和40年代）ファッションの流行を生んでいたのは銀座のホステスだった。ミニスカートが出始めたときなんかは、どんどん短くなっていって、どこまで切るんだって。（笑）カシミヤの20万のコートが飛んで売れた時代。それが昭和50年くらいから通りの様子が変わっていってさ。洋服の青山やユニクロみたいな海外製の既製品がどんどん増えて、日本製のものは消えていった。自分は生地屋の出だったからちょっと抵抗があって、反対に高くて良いもの作ろうとあがいて。だけどまあ、うまくいかなくなったね。

木　村：60’sファッションの話、とても興味深いです。ところで、前回の小川さんからは洋服の話ではなく旅の話を聞いていましたが、お好きなんですね。

布目さん：大学在学中、風俗研究会に入ってたんだ。風土が作る人の性質とかを研究しに各地を渡り歩くの。

―ここで、北陸の旅と食の深～いお話。泣く泣く省略。―

布目さん：俺は旅館なんかには泊まらないんだ、ホテルに泊まって、銭湯に行き、地元の人に聞いた居酒屋に行き、地のものを食べる。そういうのが好きなんだ。

木　村：私もそんな“ローカル旅”好きの部類なのでわかります。

布目さん：京都も面白くて、２年くらい通ったね。最初に京都に興味を持ったのはさ、松本清張の『点と線』を読んときだったんだよ。

木　村：（・・・ん？松本清張？？？）

布目さん：京都に犯人がいて、京都に行ったときに八坂神社の芋棒を食べてっていう。

木　村：（やっぱり、本の話、されてますね……？！）芋棒ってどんなものですか？

布目さん：海老芋と棒鱈なんだよ。

木　村：エビイモ？ボーダラ？って何ですか？

布目さんのお家を後にする頃には、私のスマホの検索履歴は“地方の名物“で埋め尽くされていました。とめどなく与えられる情報の量に“騒音おじさん”の意味がわかりました。自称食いしん坊、グルメな布目さんが紹介してくれた次の町人は……あなたかも！？

松本清張『点と線』

残念ながら図書室では古くなり除籍済みでしたが、取り寄せやリクエスト承ります！

夜の図書室

通常午後５時まで⇒８時まで延長！
隔週水曜日：7/20、8/3、8/17、8/31

夜間開館記念企画
仕事術本 / 癒され本
コーナー展示中！

7/12（火） 第二図書室　オープン！

静かに勉強・作業、読書ができるスペースがオープン。
詳しくは回覧板「りーぶる」をご覧ください。

予告

８月20日(土)・21日(日)「図書フェス」開催決定！
（昨年の古本市からレベルアップ！）

【#とようら図書ボラ 活動日記】ボラの活動は第二図書室だけでなく！図書室の方も少しずつ棚の改変をしてもらっています